

○ 本校の概要

- ◇児童数734名、22学級で、特別支援教室拠点校である。学区内には7町会あり、学校に対して非常に協力的で地域力が高い。
◇PTA活動、お父さんの会、同窓会活動が非常に盛んで児童の健全育成にすんで関わっている。昨年度開校80周年事業を成功させ、「チーム馬三」としての連携がさらにすすんでいる。
◇学習場面では、一人一人が自らの考えをもって言語活動を通して交流する過程(はなちゃんタイム)を重視し、主体的に学びに向かう力の育成を図っている。
◇縦割り班を活用した児童集会・なかよし給食・なかよし遊び等の異学年交流を通して、集団や社会における人間関係形成力の向上を図っている。
◇「運動大好き馬三の子」を目指して、「馬三元気アップタイム」等を計画的に行い、体力向上に努めている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成する...', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上...', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指す...'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。